

史学委員会中高大歴史教育に関する分科会（第25期・第1回）

議事要旨

1. 会議名 史学委員会中高大歴史教育に関する分科会
(第25期・第1回)
2. 日時 令和2年10月18日(木) 12時00分～12時45分、
17時50分～19時10分
3. 会場 オンライン
4. 出席者 川島真、河村豊、君島和彦、京楽真帆子、久保亨、久留島典子、坂井俊樹、鈴木茂、小浜正子、近藤孝弘、星乃治彦、桃木至朗、中野聡、永原陽子、若尾政希

説明人：都丸潤子（第25期より連携会員）

参考人：津野田興一・高橋哲

5. 議題

- (1) 暫定設置分科会の役員を次のように選出した（ただし、正式に分科会が設置された後に、改めて決めることにした）。

委員長 若尾政希、副委員長 鈴木茂、幹事 久保亨・近藤孝弘

- (2) 提言「歴史的思考力を育てる大学入試のあり方について」のフォローアップシンポジウムについて

2019年11月22日に発出した提言（文科省記者クラブにて記者会見）の反響について、メディアや学会等でどう取り上げられたのか、具体的に挙げて検証した。また、13時から行う「大学入試改革と歴史系科目の課題」（日本歴史学協会との共催。本来は3月20日に一橋大学で行っていたはずのものがコロナ禍で延期された）が、本提言をフォローアップする、きわめて重要なシンポジウムであることを確認した。

- (3) 今日のシンポジウムの議論を通して

シンポジウム終了後、再び、分科会を開いた。まずは、シンポジウムでの議論を振り返り、意見交換を行った。歴史総合という新しい科目を定着

させるためには、大学入試の改革が不可欠だという提言の趣旨が理解されつつあるということを確認した。

(4) 第 25 期分科会の重点課題について

シンポジウム及び終了後の議論を踏まえ、①歴史総合での学習を日本史探究・世界史探究にどう繋げていくのか、②中学校の歴史教育と高校の歴史総合との関係、③高校の歴史教育を大学の歴史教育、また市民を対象とした歴史教育にどう繋げていくのか、④第 23 期に定めた歴史学参照基準の再検証、⑤国公立の個別大学における入試への対応、等々、検討すべき課題がいくつも出された。

(5) その他

11 月初旬に開催される連携会員説明会（オンライン開催）後に、名簿を作成し、事務局に提出。幹事会承認後に、正式発足することを確認した。